

# 工場等緑化技術基準

この基準は、工場等緑化推進要綱第3条第2項の規定に基づき、事業者が実施する工場等の緑化についての技術上の基準を定めたものである。

## 第1 緑化

### 1 緑化

#### (1) 地上緑化

ア 敷地面積の10パーセント以上の面積を地上部への樹木により緑化すること。

イ 植栽密度は、10平方メートル当たり高木1本以上、中木2本以上及び低木10本以上とする。

ウ 敷地内の良好な既存緑地は、地上緑化とすることができる。

エ 特定工場については、工場立地法施行規則（昭和49年大蔵省、厚生省、農林省、通商産業省、運輸省令第1号）第3条、工場立地法第4条第1項の規定により公表された工場立地に関する準則（平成10年大蔵省、厚生省、農林水産省、通商産業省、運輸省告示第1号）第2条ただし書及び千葉市工場立地法地域準則条例（平成27年千葉市条例第22号）の規定を適用する。

### 2 特殊緑化

#### (1) 屋上緑化

ア 高木生育が基本条件とするが、立地条件により困難な場合でも低木の生育が可能であること。

イ 灌水等の設備が設置されていること。

ウ 植栽密度は、10平方メートル当り高木1本以上、中木2本以上及び低木10本以上とする。

#### (2) 壁面緑化

ア 緑化施設が整備された外壁直立部分の水平投影の長さの合計×1メートルとする。

イ 植栽密度は、1メートル当りツタ植物等を3本以上とする。

ウ 壁面に植栽基盤施設がある場合は基盤施設範囲とする。

エ 傾斜した壁面の緑化は、水平投影面積とする。

(3) フェンス緑化

ア 植物は、常緑の蔓性植物とする。

イ 植栽密度は、1メートル当り3本以上とする。

ウ フェンス直立部分の水平投影の長さの合計×1メートルとする。

(4) 芝生・地被類緑化

ア 芝生は、べた張り又は目地張りとする。

イ 地被類は、密植とする。

(5) プランター緑化

ア プランターの容積は、地上部に設置するものについてはおおむね100リットル以上のものを対象とし、屋上緑化及び壁面緑化に要する場合は50リットル以上のもので、固定式のものとする。

イ 植栽密度は、10平方メートル当り高木1本以上、中木2本以上及び低木10本以上とする。

(6) 花壇

ア 年間を通じて適宜植替えなどを行うことによりおおむね6か月以上植物が植栽された状態であること。

3 水平投影面積

ア 水平投影面積の対象は、地上緑化区域外の地上部に植栽された高木と棚ものとする。なお、屋上に設置された棚ものは対象とする。

イ 植物の地上部分を同一水平に投影して得られる範囲の面積とする。

ウ 高さ3.5メートル以上の高木の「みなし樹冠水平投影面積」は、8平方メートルとする。ただし、実測値が8平方メートルより大きい場合は、実測値を樹冠水平投影面積とすることができる。

エ 棚もの水平投影面積は、棚施設の範囲とする。

オ 樹冠同士の重なり及び植樹帯、植柵等の重なりを除いた面積とする。

#### 4 敷地外緑地

ア 対象区域は、市内全域とする。

イ 敷地は、おおむね 100 平方メートル以上の一団の土地で樹木により植栽され、事業者が管理しているものとし、農地は対象外とする。

#### 5 緑化支援

ア 公園緑地等への維持管理の支援

イ 公園緑地等の維持管理を行う活動ボランティア団体への支援（人的支援、経済的支援等）

### 第2 緑化用樹木の規格

工場等に植栽する樹木は、早期に緑化の効果が期待できることから、原則次の規格による。

樹木の規格

区 分	樹 高	目通り周	枝 張
高 木	3.5m	0.15m	1.0m
中 木	1.8m		0.5m
低 木	0.3m		0.4m
生 垣	1.2m	3本/m	

ただし、植栽地の条件等を勘案し適切な緑化を図るため、樹木規格換算表により樹木区分ごとの本数を変えることができる。

樹木規格換算表

区 分	高 木 : 中 木 : 低 木 : 生 垣
規格換算	1 本 : 5 本 : 15 株 : 3 m

### 第3 緑化形式と植栽樹種の選定

工場等敷地の外周は緩衝緑地として常緑高木を主景とした帯状樹林とし、極力幅を広くとり、将来複層混交林となるよう植栽する。また、建築物、通路等の周辺の緑化については、高低木及び花木を交えた植栽とする。

植栽する樹木は、工場等の緑化に適した樹種に限らず、地域の景観を創出するような樹種も選択するものとする。

樹種の選定に当たっては、別表1「工場等緑化に適する樹木の特性」を参考とすること。

#### 第4 植栽地の造成

植栽地は、必要に応じて盛土、客土、土壌改良、耕うん及び排水施設を施すなどして植栽に必要な改良を加える。ただし、屋上緑化及び壁面緑化を行う場合は、建築基準法に基づき建築物に加わる荷重及び建築物の安全性、併せて植物の生育条件等を考慮し設定すること。

植物に必要な土壌厚については、別表2を参考とすること。ただし、屋上緑化を行う場合において、別表2に掲げる土壌厚に満たない場合で、過去の実績等により植物の生育が適切に確保できると認められる場合を除く。

## 第5 植栽及び維持管理

植栽にあたっての留意事項		植 栽 後 の 管 理	
植栽時期	一般には早春芽の伸び前がよいが樹種に応じた適期を選ぶ。	補 植	植栽したものが枯損したときは、1年以内に補植をする。
形 質	根張り、枝張りがよく、病虫害がなく、根元が太くて丈夫なものを選ぶ。	灌 水	植付直後は2～3日おきに植付後1～2年間は夏季乾燥期に継続して行なう。
根の乾燥防止	掘り取ってから植付までの間の根の乾燥防止に細心の注意を払うこと。	剪定整枝	特殊な樹木を除き必要最小限度とする。
植 穴	植穴はゆとりをもって掘るとともに、適度の深さに植える。	除 草	根元の乾燥を防止するため潔癖な除草はさけ、刈払い程度とし、刈草は根元へ敷きこむ。
客 土	生育に適さない場合は、客土を施す。	敷わら(草)	植栽直後、乾燥期および凍害期に行なう。
元 肥	有機質を主とした元肥を施す。	追 肥	冬期に有機質を主とした寒肥を施す。
灌 水	十分に灌水するとともに根の間によく土を入れる。	支 柱	破損した場合は、補修する。
支 柱	樹木のゆれを防ぐため、樹木の大きさに応じた支柱をする。	薬剤散布	病虫害の防除は、早期の実施が効果的である。

別表1										
工場等緑化に適する樹木の特性										
特性 樹木名	高・中・低	常緑・落葉	陰・陽	適正土壌	耐乾湿	移植の難易	潮害	大気汚染	用途	栽(準適期)植
イヌマキ	高	常針	陰	砂壤土	湿	中	強	中	主木 生垣	3-6(9-10)
クロマツ	高	常針	陽	砂壤土	乾	中	強	中	主木	12-4(9-11)
カイヅカイブキ	高	常針	陽	砂壤土	乾	中	強	強	主木 生垣	2-7(9-11)
ヒマラヤスギ	高	常針	陽	砂壤土	中	易	弱	中	主木	1-4(9-11)
マテバシイ	高	常広	陽	壤土	中	中	強	強	主木	5-7(9-10)
ウバメガシ	高	常広	半陰	砂壤土	乾	易	強	強	主木 生垣	3-6(10-11)
ユズリハ	高	常広	半陰	砂壤土	中	中	強	やや強	主木	3-6(10-11)
クスノキ	高	常広	半陰	壤土	中	中	強	やや強	主木	5-6(9-10)
タブノキ	高	常広	陽	壤土	中	やや難	強	中	主木	4-5
モチノキ	高	常広	陰	壤土	中	易	強	強	主木	3-6(10-11)
クロガネモチ	高	常広	陰	壤土	中	易	強	強	主木	3-6(10-11)
イチヨウ	高	落針	陽	砂壤土	中	易	中	強	主木	11-12(3-4)
シダレヤナギ	高	落広	陽	砂壤土	湿	易	中	強	主木	2-4(11-1)
プラタナス	高	落広	陽	砂壤土	乾湿	易	中	強	主木	10-11(2-3)
トウカエデ	高	落広	陽	壤土	中	中	弱	強	主木	11-12(3-4)
オオシマザクラ	高	落広	半陰	砂壤土	中	中	弱	やや強	主木	10-11(2-3)
サンゴジュ	中	常広	半陰	壤土	湿	易	強	強	生垣	4-6(9-10)
キョウチクトウ	中	常広	陽	砂壤土	中	易	強	強	生垣	3-5(10)
マサキ	中	常広	陽	砂壤土	湿	易	強	強	生垣	3-11
イヌツゲ	中	常広	半陰	砂壤土	中	中	強	強	生垣	3-6(9-10)
ネズミモチ	中	常広	陰	砂壤土	乾湿	易	強	強	生垣	3-7(9-10)
カナメモチ	中	常広	半陰	壤土	中	中	強	強	生垣	3-6(9-10)
モッコク	中	常広	陰	壤土	中	中	中	やや強	主木	3-6(10-11)
シャリンバイ	低	常広	陽	砂壤土	中	易	強	強	寄植用	4-6(10-11)
ハマヒサカキ	低	常広	半陰	砂壤土	乾	易	強	強	寄植	4-6(10-11)
トベラ	低	常広	半陰	砂壤土	乾湿	中	強	強	寄植	5-6(10-11)
サツキ	低	常広	半陰	壤土	中	易	中	強	寄植	3-5(10-11)
オオムラサキツツジ	低	常広	半陰	壤土	中	易	中	中	寄植	5-6(10-11)
ナワシログミ	低	常広	陰	—	乾湿	易	強	強	寄植	3-4
ドウダンツツジ	低	落広	陽	砂壤土	中	易	中	強	寄植 生垣	10-11(3-5)
アベリア	低	落広	陽	砂壤土	中	易	中	強	寄植	4-6(10-11)
ケヤキ	高	落広	陽	壤土	中	易	弱	強	主木	4-5(10-11)
ヤブツバキ	高	常広	陰	壤土	中	中	強	強	主木	2-4(5-6)
サザンカ	高	常広	陰	壤土	中	中	強	強	主木	2-4(5-6)
シラカシ	高	常広	半陰	壤土	乾	中	中	強	主木	2-4(6-7)
スダジイ	高	常広	半陰	壤土	中	易	強	強	主木	2-4(6-7)
ヤマモモ	高	常広	半陰	砂壤土	中	易	強	強	主木	3-4(6-7)

別表2 植物に必要な土壌厚

区分	高 木	中 木	低 木	草 花	芝	セダム類	備 考
厚さ (屋上緑化 の場合)	90 cm 以上 (40cm 以上)	60 cm 以上 (30cm 以上)	45 cm 以上 (25cm 以上)	30 cm 以上 (15~20cm 以上)	15~30 cm (15cm 以上)	—cm (5 cm 以上)	コンクリー ト上の盛土 は、この基準 を上廻る厚 さが必要で ある。